

①ながまことは大いなり 頼む神は君のみ
変わらぬ なが愛の手に 支えらるる命ぞ

②季節ごとに花ひらき 星は空の道ゆく
御神（みかみ）の手の くしわざを もの みな ほめ歌えり

③罪赦され 安きうけ 導き得て 喜び
ちからに満ち 悪に勝ち 糧(かて)は つねに ゆたけし

★大いなる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
 聖なる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
 今 弱い者よ 叫べ 勇士だと 勝利の主が 共におられる
 今 貧しい者よ 叫べ富んでいると 恵みの主が 共におられる
 (★くりかえし)

感謝します

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇84篇5～12節

- 5 なんと幸いなことでしょう。
その力があなたにあり
心の中に シオンへの大路（おおじ）のある人は。
- 6 彼らは涙の谷を過ぎるときも
そこを泉の湧く所とします。
初めの雨も そこを大いなる祝福でおおいます。
- 7 彼らは力から力へと進み
シオンで神の御前（みまえ）に現れます。
- 8 万軍（ばんぐん）の神 主よ
私の祈りを聞いてください。
ヤコブの神よ 耳を傾けてください。
- 9 神よ われらの盾（たて）をご覧ください。
あなたに油注がれた者の顔に
目を留めてください。
- 10 まことに あなたの大庭（おおにわ）にいる一日は
千日にまします。
私は悪の天幕に住むよりは
私の神の家の門口（かどぐち）に立ちたいのです。
- 11 まことに 神である主は太陽 また盾。
主は恵みと栄光を与え
誠実に歩む者に良いものを拒まれません。
- 12 万軍の主よ なんと幸いなことでしょう。
あなたに信頼する人は。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 2 篇 16～18 節、

マタイの福音書 2 篇 16～18 節

- 16 ヘロデは、博士たちに欺かれたことが分かったと激しく怒った。そして人を遣わし、博士たちから詳しく聞いていた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯の二歳以下の男の子をみな殺させた。
- 17 そのとき、預言者エレミヤを通して語られたことが成就した。
- 18 「ラマで声が聞こえる。
むせび泣きと嘆きが。
ラケルが泣いている。その子らのゆえに。
慰めを拒んでいる。
子らがもういないからだ。」

エレミヤ書 31 章 15～22 節

- 15 主はこう言われる。
「ラマで声が聞こえる。嘆きとむせび泣きが。
ラケルが泣いている。その子らのゆえに。
慰めを拒んでいる。その子らのゆえに。
子らがもういないからだ。」
- 16 主はこう言われる。
「あなたの泣く声、あなたの目の涙を止めよ。
あなたの労苦には報いがあるからだ。
——主のことば——
彼らは敵の地から帰って来る。
- 17 あなたの将来には望みがある。
——主のことば——
あなたの子らは自分の土地に帰って来る。
- 18 わたしは、エフライムが悲しみ嘆くのを 確かに聞いた。
『あなたが私を懲らしめて、
私は、くびきに慣れない子牛のように 懲らしめを受けました。
私を帰らせてください。そうすれば、帰ります。
主よ、あなたは私の神だからです。
- 19 私は立ち去った後で悔い、
悟った後で、ももを打ちました。
恥を見て、辱めさえ受けました。
若いころの恥辱を 私は負っているのです』と。

20 エフライムは、わたしの大切な子、
喜びの子なのか。
わたしは彼を責めるたびに、
ますます彼のことを思い起こすようになる。
それゆえ、わたしのはらわたは
彼のためにわななき、
わたしは彼をあわれまずにはいられない。
——主のことば——

21 あなたは自分のために標識を立てて
道しるべを置き、
あなたが歩んだ道の大路に心を留めよ。
おとめイスラエルよ、帰れ。
これらの、あなたの町に帰れ。

22 背信の娘よ、いつまで迷い歩くのか。
主はこの地に、一つの新しいことを創造される。
女の優しさが一人の勇士を包む。」

■聖歌 2 1 1 「わが身をみちびく」

①わが身を導く 主は共にませば あめなる慰め 常にわれにあり

※導く主の手に すべてをまかせて 旅を続けうる わが身ぞ楽しき

②かげなる谷間も 嵐のあらのも などて恐るべき 主は共にませば

③わが身の置かる 地はいずこぞある
などてつぶやきの あるべき この身に

④寒き川岸に われ立つ時にも やすく渡るをえん 主の手にすがらば

■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン